

重点取組名	人と環境にやさしいエコ農業への転換にむけた啓発活動
普及活動担当	長野農業改良普及センター須坂支所 徳永主査・田淵主任
主要な活動地域・対象農業者	長野県上高井郡高山村 J A須高りんご部会高山支部（252名）
取組結果・成果 〈取組みのねらい〉	<p>1 課題の背景と目的 高山村では、平成3年からりんご栽培において性フェロモン剤を利用し、農薬使用量の削減に取り組むなど環境にやさしい農業を推進してきている。平成16年度全国環境保全型農業コンクールで、環境に配慮した資源循環型農業の仕組みを構築したことが評価され、農林水産大臣賞を受賞した。そこで普及センターではこの期に消費者、市場への更なるアピール（選ばれる産地）が必要と考え、エコファーマーの取得を推進した。</p> <p>2 取組結果及び成果</p> <p>1) 関係者への啓発</p> <p>① J A須高りんご部会高山支部の役員が集まる会議でエコファーマー取得を提案</p> <p>② J A須高りんご部会高山支部役員会にて全出荷者で取得を目指すこととなる</p> <p>③ 6月の降雹で被害を受けるが、部会役員、支会長（集落代表者）会議にて「こんな時こそ頑張って資格を取得しよう」と今年度の取得を行うこととなった。</p> <p>2) エコファーマー取得に対する支援</p> <p>① 村内2ヶ所で説明会を開催 ・制度内容、メリット、申請方法、認定スケジュール等を説明し、質疑応答を行う</p> <p>② 7月上中旬の着果点検時に再度説明を行う（14集落）</p> <p>③ 土壌診断を実施し説明会を開催 ・全部会員が土壌診断を行ったので、地域の傾向が把握でき、同時に個別の施肥方法についてアドバイスを行った。</p> <p>④ J A須高りんご部会高山支部の全出荷者252名がエコファーマーの認定を受ける</p> <p>3) 高山村環境保全型農業推進大会を開催（認定式を併せて開催） 環境にやさしい農業へのより一層の啓発を図った。</p>
連携機関、協議会等	J A須高、J A須高りんご部会高山支部、高山村役場
取組の特徴や取組に際しての工夫	<p>1 大規模な一括資格取得 高山村が以前から取り組んできた環境保全型農業の推進を受け、生産者・関係者にエコファーマー取得を期を逃さず提案することができたことが大規模な一括取得につながった。</p> <p>2 波及効果 エコファーマーの資格取得が報道等で周知されたことや管内の女性農業者を集めて開催される「女性農業者のつどい」で取得を報告したことにより、須高地区の他市町村でもエコファーマー取得の動きが出始め、平成18年度はJ A須高ぶどう部会（部会員1100名）や高山村内の他品目でも取得を計画し始めた。</p> <p>3 有利販売に向けて J A S有機などの認証に比べると消費者に与えるインパクトは大きくはないが、数が集まることにより市場も「環境に配慮して農業を行っている産地」として無視できなくなるとの見方もある。 「エコファーマーが作った信州さわやかりんご」として有利販売につなげたい。 また、単品目の高付加価値販売だけでなく「高山村（須高地区）の農産物全体」のイメージアップにつなげて行きたい。</p>
【参考】	